

# PCSA アクションレポート（不正対策研究部会）

平成 30 年 1 月版

## 第 139 回不正対策研究部会・第 42 回 PCSA 不正対策勉強会

- 開催日時 平成 30 年 1 月 26 日（金） 午後 1 時～午後 5 時
- 開催場所 PCSA 会議室
- 出席人数 講師 1 名、部員 10 名、正会員オブザーバー 3 名、賛助会員オブザーバー 6 名、日遊協参加者 4 名、  
同友会参加者 1 名、メーカー参加者 1 名、合計 25 名
- 出席者 <勉強会 講師>  
高石 隆一 様 有限会社ジャパン・セキュリティ・サービス 代表取締役社長
- <リーダー>  
松本 浩 株式会社ヒカリシステム 設備マネジメントグループ メンテナンスチーム アシスタントマネジャー
- <サブリーダー>  
倉沢 隆志 株式会社ニラク 法務部 コンプライアンス担当
- <部員>  
金子 敦 株式会社ダイナム 法務・リスク管理部 リスク管理担当  
松尾 武 運営推進部 遊技機流通支援・不正対策グループ マネジャー  
梅野 唯行 株式会社合田観光商事 セキュリティ課 課長  
上野 誠 株式会社ヒカリシステム 設備マネジメントグループ メンテナンスチーム  
春原 正愛 アメニティーズグループ（株式会社アメニティーズ） 監査室 係長  
柏 信吾 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 営業支援部 主任  
徳永 正宣 株式会社チアエンタープライズ 総務部 法務課長  
山本 譲 株式会社三永 業務推進課 係長
- <正会員オブザーバー>  
寺島 宗幸 株式会社ニラク 法務部 コンプライアンス担当  
美齊津 孝幸 株式会社アメニティーズ 監査室 主任  
榎本 哲也 株式会社パンドラ(アメニティーズ) 監査室 主任
- <賛助会員オブザーバー>  
鈴木 勝浩 オムロンアミューズメント株式会社 特機営業課 課長  
扇原 浩一 オムロンアミューズメント株式会社 東京営業 課長  
佐藤 真治 オムロンアミューズメント株式会社  
宮野 浩 オムロンアミューズメント株式会社  
団野 栄二 株式会社ビジョンサーチ社 取締役 本部長  
前川 竹志 株式会社インターコスモス 取締役本部長

<日遊協参加者> 4名

<同友会参加者> 1名

<メーカー参加者>

大庭 義樹 様 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 開発本部 セキュリティ対策室 室長

## 第 139 回不正対策研究部会

### 1) 遊技機の適正排出のお願いについて（日遊協 2017 年 12 月 18 日）

本年 10 月 2 日に開催された日遊協 遊技機リサイクル推進委員会において、日工組より、遊技機の排出（廃棄）について適正に処理して頂きたいというお願いがされた。遊技機に貼付されている製造番号や主基板管理番号を消して排出する事例や、主基板以外の遊技機を排出される事例が散見されており、メーカー各社で機歴管理を行い、処理済み遊技機を特定する事が必須な為に今回のお願いが出された。

部会では、ホールが遊技機廃棄を委託した業者が不法に廃棄した場合でも、ホールに罰則が発生する可能性があること、またその罰則も非常に重いもののため、メーカー指定のリサイクル業者に依頼することが望ましいと注意喚起がされた。

### 2) 遊技機性能調査の結果（概要）について（機構 2017 年 12 月 20 日）

平成 27 年 6 月 1 日から開始、平成 29 年 11 月までの「遊技機性能調査」の結果が機構より報告された。2 年 6 ヶ月間、ぱちんこ遊技機の一般入賞口への入賞状況であり、平成 29 年 1 月からは、一般入賞口への入賞が検査対象のぱちんこ遊技機において 100%確認されている。

部会では、これまでの経緯と今後の展望について情報を共有した。

### 3) 体感器注意喚起について-株式会社北電子-2018 年 1 月 9 日

株式会社北電子、回胴式遊技機において 2 種類の「体感器ゴト」が可能であると確認できた為監視強化と注意喚起のお願いがされた。

部会では、注意喚起はするものの、いずれも型式試験適合日が平成 18 年から 19 年の機種ということで、設置台数は非常に少ないとの意見が出された。

### 4) 最新ゴト情報・ゴト被害アンケートについて

アンケート回答 7 社。電波、他店持ち込み、レート変更、油ゴト、磁石、糸付き玉などで、被害件数 17 件、被害額¥309,180-、警察への通報回数が 3 件、被害届申請が 1 件、被害届受理が 0 件となっている。持ち込み、別積の箱が盗まれた事例、電波ゴトなどにおける警察への通報やその後の流れについて情報を共有した。

### 5) 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 報告事項

・スロット D のゴト対策でセクターの無償交換を中部地方から開始、次は首都圏を予定している。

### 6) 内部不正対策

今回は「設定漏えい、不正関係の内部不正防止、抑止に有効であると思われる誓約書、秘密保持契約書などの事例、対策」がテーマ。具体的な下記事例への予防、対策等が話し合われた。また、次回の部会では、

「誤差玉の管理と対策、実際の事例」をアンケートする。

Q 誤差玉の管理と対策、実際の事例。

Q1-1：誤算玉の管理はどの様にされていますか？ 店舗での報告について、本部での情報集積などについてお答え下さい。

Q1-2：誤算玉への対策、対応はどの様にされていますか？ 発生した際の対応方法、発生させない為の対策等についてお答え下さい。

Q1-3：誤算玉の実際の事例を教えてください。発覚の経緯、対処、対応方法、結果としてどうなったか、再発防止策などについてお答え下さい。

## 7) 第 17 期スケジュールについて

平成 30 年	4 月 20 日(金)	勉強会	午後 1 時～午後 5 時	PCSA 会議室
	5 月 25 日(金)		午後 1 時～午後 3 時	PCSA 会議室
	6 月 15 日(金)		午後 1 時～午後 3 時	PCSA 会議室
	7 月 25 日～26 日	札幌 勉強会		
	8 月 24 日(金)		午後 1 時～午後 3 時	PCSA 会議室
	9 月 28 日(金)		午後 1 時～午後 3 時	PCSA 会議室

## 8) 次回開催

平成 29 年 11 月 17 日 (金)

午後 1 時～3 時

PCSA 会議室

以上

# 第 43 回 PCSA 不正対策勉強会

<タイトル>

「最新のゴト情報について」

<講師>

有限会社ジャパン・セキュリティ・サービス 代表取締役 高石 隆一 様

<内容>

- ・2017 年のゴト被害発生状況
- ・前年最多の電磁波ゴトが減少
- ・2018 年に注意すべきゴト手口
  - ・釘曲げゴト
  - ・糸付玉ゴト
  - ・クレジット上げゴト
  - ・玉・メダルの持ち込みゴト
  - ・IC カード泥棒
  - ・どつき
  - ・スロット みなし機を狙った体感器 仕込み事案が増加

<不正基板>

- ・メーカー調査によって不正品と判明
- ・カシメに開封痕跡が見当たらないにもかかわらずメインロム下に不正チップが仕込まれていた
- ・2009年～2012年頃に同種のメインロムのパチンコで発生していた事案
- ・現在の主流は次世代に移り変わっているが、同種のメインロム搭載の機種もいまだに多いので要注意
- ・まもなく、風適法施行規則の改正が2月1日から施行。大当たり出玉が減るので6号機より5号機の方が、ゴト師にとってもおいしい
- ・5号機はまだまだ長期設置が予想されるので不正チップを搭載したままで設置しないように注意
- ・割が取れないなどの不審な台に注意

<釘曲げ>

- ・2016年8月頃から多発した、台トラブルを起こしてその際に釘を曲げる手口
- ・店員教育で重要なのは、店員全員がゴト手口を識る、気になった事へのホウレンソウ、受けたホウレンソウの確認、適切な対応。これがゴト対応の王道パターンで、理想的な対応方法
- ・エラー対応時に他スタッフがフォローで遠巻きに状態を確認する
- ・ガラス解放時には釘という重要部品を無防備にしている事を意識すべき

<糸付玉ゴト>

- ・2017年メーカーAのハネものを中心に被害が発生
- ・最近では対策として糸切りカッターを搭載した機種が増えてきたが、一方突破されて被害が発生している

<クレジット上げゴト>

- ・メーカーE製スロットを狙ったクレジット上げゴトが発生している
- ・メダル通過センサーとゴト対策はすでにされている
- ・閉店後の誤差から被害が判明する事が多い

<玉・メダルの持ち込み>

- ・年間を通して頻繁に発生している玉メダルの持ち込み
- ・不正対策にとって情報は不可欠、引き続き全国に広がる情報共有の有効活用を!
- ・各台計数機では、不正にメダルを追加するとエラーを出す

<ICカード泥棒>

- ・東海地方でICカード泥棒を繰り返すゴト師を2015年から犯行確認
- ・遊技者の横で説明カードで手元を隠して実行している
- ・泥棒被害はお客様の金銭が被害に遭う

<不正リール基板>

- ・昨年11月、遊技機Kからリール基板の不正品が発見される
- ・怖いのは撤去まで使う予定の機種に不正品が混入している可能性がある事

<磁石>

- ・大当たり中の賞球増し狙い
- ・ゴト師には毅然とした態度で対応する

- ・最近の店長はもめ事になれていないので注意

<ホールで起こる突発的な出来事>

- ・ホール内での痴漢行為
- ・駐車場で猥褻 DVD 販売
- ・遊技約款 駐車場利用規約などの掲示
- ・車両損壊
- ・釘に関する脅し
- ・酔っぱらいの襲撃
- ・モラル欠如事案
- ・自販機放火など

<質疑応答>

- ・酔っぱらいの襲撃などで、通報してから警察が来るまでの間、どうすべきか。

→ 安全を第一にするべき。手を出さない方が良い。無理はしない。

- ・相手が逃げようとした場合にはどうすべきか。

→ 逃がして良い。犯人は逃げるために必死になるので手を出さない。車の車種やナンバー、服装を確認するにとどめるべき。スタッフにはテンションが上がって手を出さないように教えている。無理して捕まえても良いことはない。

以上